

【任期報告】

地域おこし協力隊若穂保科地区
西中 崇

【活動内容】

果樹（ぶどう）栽培技術習得

① 移住について

② ミッション

③ 今後について



①移住について

- 漠然とした憧れが出発
→決断から移住決定まで数ヶ月
- 自身が求める理想の移住生活
→ゆるやかに地に足をつけてしずかにつつましやかに。ストレスフリーで。
- なぜ協力隊制度を選択したか
→移住の不安を取り払えるパッケージ化された制度として
優れていると感じた。
- 実際に来て感じたこと

協力隊制度について

- ・ 一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、**農林水産業への従事**、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながらその地域への定住・定着を図る取組。
- ・ 自身の才能・能力を活かした活動。理想とする暮らしや生き甲斐発見

→移住して**3年間の移住生活そのものが活動**。

最終的にその地域に**定住することが制度の期待する効果**。

どんな効果？

- 移住定住による中山間地域への人口増加
- 地域経済を支える労働力および自治体税収の確保
- 3年間の生活・活動による市内での消費行動
- 農業従事者人口の増加

(現状は10年で100万人減少。2010年：260万人→2019年：**160万人**)

→農家だけでなく、それを手伝う人の高齢化と人手不足が深刻

- 農作業支援(研修先および知人農家へ)
- 耕作放棄地の耕作地化
- 地域活動への参加

② ミッション

- 1年目
研修先にてぶどう栽培技術およびスケジュール、管理等を実地体験する。
生活に慣れること。退任後の見通しを立てること。
心配事→田舎での生活するにはどのくらいかかるか？
生活コストの確認→出来る限りの節約生活。だいたい120万以内くらい？
- 2年目
引き続き技術習得をしつつ新規圃場探し。
昨年経験したことを復習しつつ年間を通してぶどう栽培細部の内容を確認。
圃場作成計画と資材調達
- 3年目
新規圃場の確保とぶどう棚を自前で制作。
自分の圃場でぶどう栽培から収穫までの一連の作業をすべて行う。
引き続き研修先での作業等。
退任後の準備等

課題・問題

- ぶどう農家として活動に必要なもの
 - ①圃場（一人で作業できて生活していける程度の収入は3反歩ほど）
 - ②SS
 - ③軽トラ
 - ④乗用草刈機
 - ⑤作業場

任期は3年。すでに収穫できる圃場を手に入れられればよいが、見つからない場合ははじめから作らないといけない。

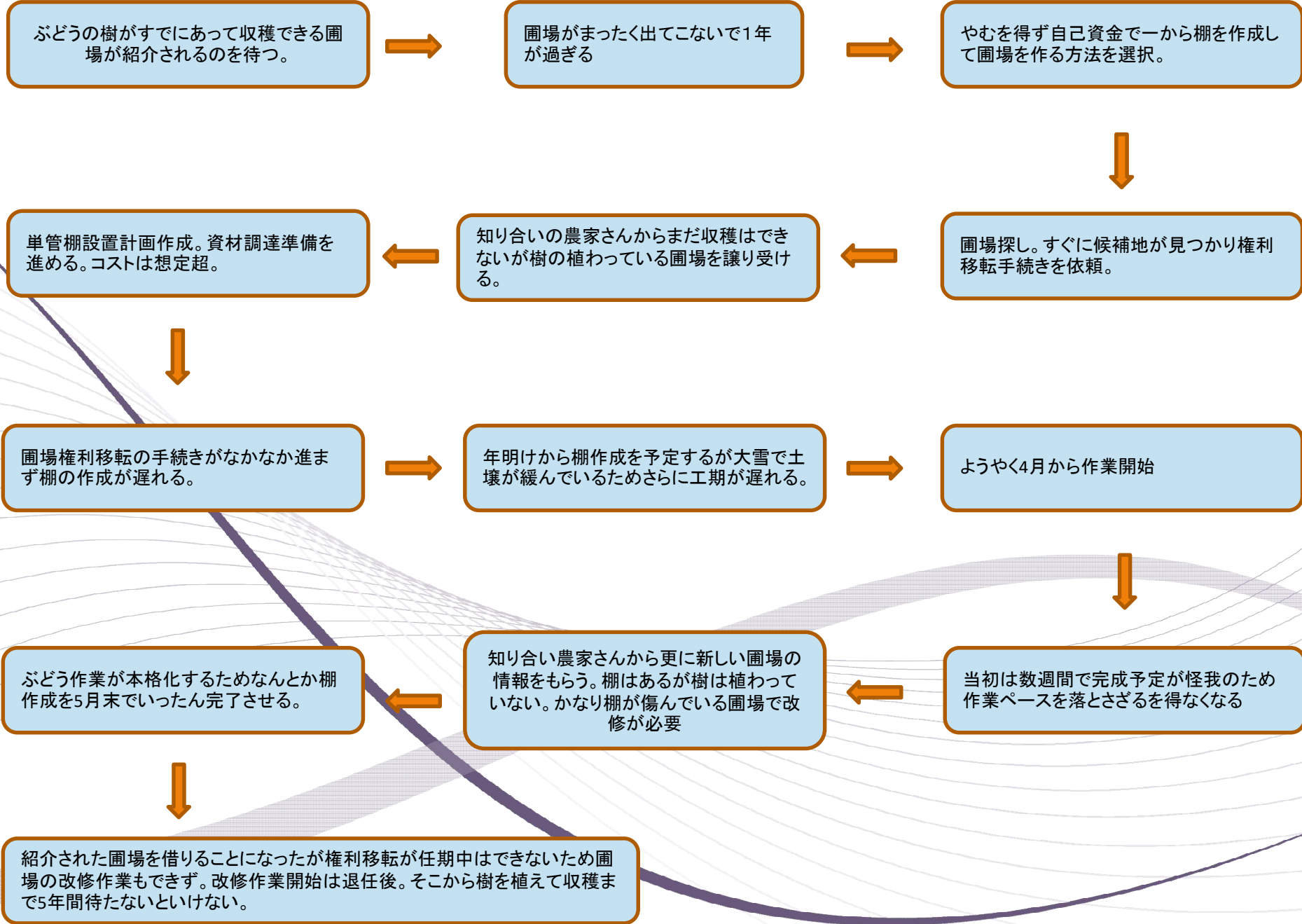
果樹が成長して収穫できるまで**最低5年**・・・

→それまで収入が得られない。

仮に1年目で樹を植えたとしても退任後2年間ほぼ無収入。

仮に圃場が見つかってもぶどうは棚が必要。

そのための棚制作コストは・・・



譲ってもらった圃場

(2021年4月)

圃場情報

場所: 保科地区

面積: 1,160.00m²(11.60a)

シャインマスカット 9本



今年どのように育てていくか？

- ・棚の整備(小針線張替え等)
- ・1本のみテストで房をつけてみる
- ・それ以外の樹は成長管理
- ・除草管理



圃場風景①



主枝が風で折れたところ



2021年7月12日雹害発生



黒痘病



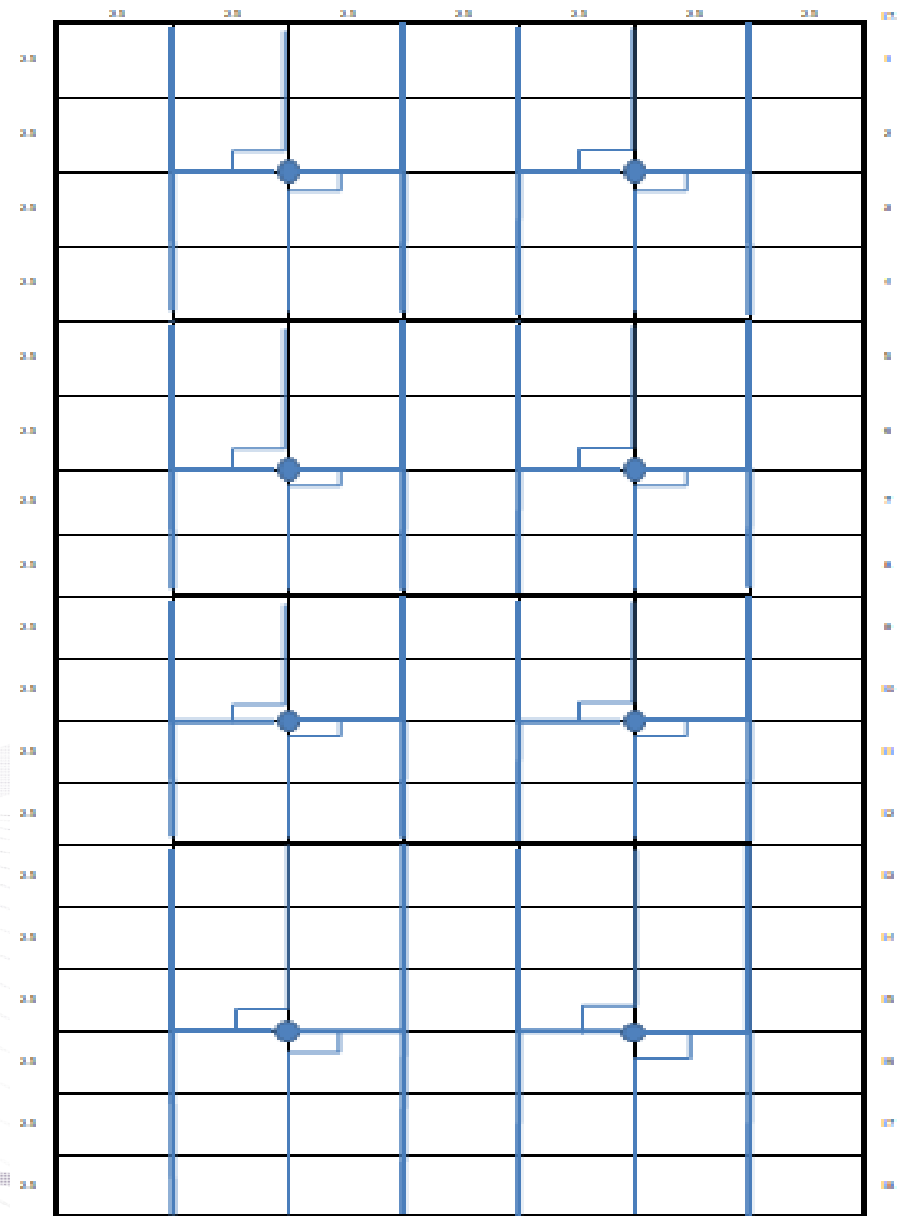
糖度計シャインは18度くらいが適正



自前で単管棚作成

- 単管でどうやって棚をつくるか？
- 圃場・棚の設計？
- 単管の確保？長さ？
- 単管の運搬はどうするか？
- 制作費は？
- 作業時期は？

棚計画図



単管パイプ棚制作費

- 単管 2 m 480本×840円
- 1.5m 26×950円
- 1 m 100×448円

472,700円

- 単管ベースピンコロ 152×498円 = 75,696
- コンクリート平板 152×358円 = 54,416
- 直行・自在クランプ 440×178円 = 78,320
- 直線ジョイント 328×248円 = 81,344
- 単管キャップ 152×28円 = 4,256

294,032円

合計 766,732円

単管棚設置作業前風景



一時保管場所



単管設置場所を決めるために糸を張っているところ

棚制作過程



単管ベースピンコロとコンクリート平板



単管同士を直線ジョイントで接続



横列は2mを8本と1.5mを1本使用









第三の圃場

圃場情報

面積 約10a

樹はなにも植わっていない。
棚はあるがかなり古く傷んで
いる状態



2022テストで収穫



約130房ほど袋掛けまでおこなったが裂果のため最終的には100房ほどの収穫となった



③ 今後の予定

- 新規就農
- 経営規模を大きくして更にぶどう栽培していく
- 自分らしく

ご清聴ありがとうございました